

塾長の独り言 NO170 H26. 4. 6

「良い上司とは？」

日経トップリーダー4月号にこんな記事が掲載されていました。

「良い上司」とは、どんな上司でしょうか？

上司たる者、部下の尊敬を勝ち取るべき。
そう考えて精進に励み、幹部社員を叱咤激励する経営者は多い。
だが、ここに落とし穴がある。

「尊敬される上司」でも
「好かれる上司」でもない。

……「部下に成果を上げさせる上司」です。
上司は部下から敬意や好意を得ることにより、部下が成果を上げることを優先しなければなりません。

優秀な部下や幹部がいると、この幹部からの敬意にこだわることにもなる。
時には威圧的な態度を取ることもなり、反発を買ってしまうことも多い。
一方、部下に好意を求めて失敗する経営者も目立つ。
部下に好かれたいあまり、頼まれると何でも安請け合い。
そしてオーバーワークに陥り、自滅します。

とはいえ、言うは易し、行うは難し。
理屈では納得しても、実践となると感情やクセが邪魔します。
だから、新米上司は必ず失敗を犯すのです。
重要なのは、その失敗を記憶にとどめ、時折、振り返ることです。
経験に照らし合わせて、昔の失敗の意味を考える。
十年以上も繰り返していると、あるとき、ふっと上司の心得が腑に落ちます。

<コメント>

「良い上司とは？」

こんな質問をされたら、あなたはどうか答えますか？

では、「良い部下とは？」

どんな部下でしょうか？

よくこんな質問を、私もメンターから問い掛けられました！

答えは……成果を上げ続ける部下です。

では成果とは？何を成果とあなたは考えますか？

こんな禅問答をすることも、時には必要なのではないのでしょうか？